

防犯

だより

vol.72

防犯専門官

山田 英明

年末年始の防犯対策

空き巣に注意



例年、年末年始は帰省したり家族旅行に出かけたりする家庭が多く、それに伴い空き巣などの被害が増加しています。泥棒は侵入する前に、「留守かどうか」「侵入しやすく逃げやすいか」「隣近所からの見通しはどうか」などを確認して犯行に及びます。被害を防ぐためには、不在を悟られない対策が有効です。

☑新聞や郵便の配達を止める
長期不在にする際は、新聞や郵便物の配達を止めてもらい、郵便受けから溢れないようにしましょう。

☑留守番電話の応答

留守番電話の応答メッセージを入れる場合は、外出時間を入れないようにしましょう。どうしてもという時は、携帯電話に転送設定するという方法もあります。

☑室内の明かり

可能であれば、暗くなると自動的に点灯するような照明などをセットして、泥棒に不在を悟らせないようにしておくことも有効な対策です。

☑小窓の施錠

浴室やトイレの小窓は換気のため開けておく人も多いのですが、狙われやすい場所なので施錠して出かけてください。

☑洗濯物

旅行の出かけにベランダなどに洗濯物を干していく人もいますが、洗濯物が干されたままだと不在であることがわかってしまいます。

☑近隣へのお知らせ

旅行中の不在を隣近所に知らせておくことも、侵入者がいた場合に判明しやすくなるので大切なことです。

飲酒運転の撲滅

年末になると飲酒の機会が増えますが、「もう酔いはさめているだろう」と安易な判断で運転してはいませんか。お酒が体内に残っている状態で運転し、検挙されれば、免許取り消しはもとより、刑事罰として高額な罰金、場合によっては懲役刑となり、取り返しのつかない事態を招きます。

また、飲酒運転事故で死亡した割合は、それ以外の事故の場合と比べて約8倍に上るといふデータもあります。

飲酒運転は「絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」ことを徹底し自分はもちろん、家族や知人が飲酒運転をしないように声掛けや注意をしましょう。

○飲酒運転はこんなに危険！



・平衡感覚が乱れ蛇行運転となる。

・判断力が低下し、速度超過や乱暴な運転につながる。

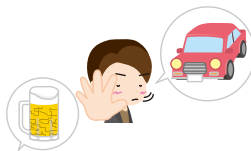
・ハンドルやブレーキの操作が遅れる。

・動体視力が落ち、視野が狭くなる。

これらの症状は自覚することは難しく、運転に悪影響を及ぼします。

○「ハンドルキーパー」を決めましょう

飲酒運転をしないためには、ハンドルキーパー運動を推進することも重要です。会社やグループでの飲み会はハンドルキーパーを決め、飲酒運転の防止を図ることも大事なことです。



年末特別警戒を実施します

火災が発生しやすい時期でもあります。太宰府市消防団が12月28日(出)～30日(月)に、夜間の巡回パトロール・防火広報活動を行います。火の取り扱いには十分ご注意ください。

コミュニティ無線をととしてのJアラート試験放送を実施します 問い合わせ 防災安全課(内線 519・549)



放送日時

令和元年 12月4日(水) 午前11時
令和2年 2月19日(水) 午前11時

放送内容 「これは、Jアラートのテストです」を3回くりかえし放送し、「こちらは太宰府市です」を1回放送します。

緊急時にJアラート(全国瞬時警報システム)の情報がコミュニティ無線で正常に放送できるかを確認するため、全国一斉に実施される試験放送を本市においても右記の日程のとおり実施します。皆様のご理解とご協力をお願いします。
※一斉訓練の状況に応じて、中止または延期される場合があります。